

平成25年度（2013年度）
第45期

事業計画書
収支予算書

2013年度 事業計画 (1)

第 45 回(2013 年度) 内藤記念科学振興賞候補者推薦要領

趣 旨	人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的領域において、進歩発展に顕著な功績のあった研究者に対して褒賞を授与するものである。																											
候補者資格	1) 人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究において、独創的テーマに取り組み、進歩発展に顕著な功績を挙げた研究者。 2) 候補者は単独とするが、異なる研究グループによる共同研究の場合には、連名であっても良い。 3) 候補者の再度の推薦は差支えない。																											
推 薦 者	1) 下記 27 学会の代表者 <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>高 分 子 学 会</td> <td>日 本 獣 医 学 会</td> <td>日 本 農 芸 化 学 会</td> </tr> <tr> <td>日 本 遺 伝 学 会</td> <td>日 本 植 物 生 理 学 会</td> <td>日 本 発 生 生 物 学 会</td> </tr> <tr> <td>日 本 ウ イ ル ス 学 会</td> <td>日 本 神 經 科 学 学 会</td> <td>日 本 ビ タ ミ ン 学 会</td> </tr> <tr> <td>日 本 栄 養 ・ 食 糧 学 会</td> <td>日 本 神 經 化 学 会</td> <td>日 本 病 理 学 会</td> </tr> <tr> <td>日 本 解 剖 学 会</td> <td>日 本 生 化 学 会</td> <td>日 本 物 理 学 会</td> </tr> <tr> <td>日 本 化 学 会</td> <td>日 本 生 物 工 学 会</td> <td>日 本 分 子 生 物 学 会</td> </tr> <tr> <td>日 本 癌 学 会</td> <td>日 本 生 物 物 理 学 会</td> <td>日 本 免 疫 学 会</td> </tr> <tr> <td>日 本 細 菌 学 会</td> <td>日 本 生 理 学 会</td> <td>日 本 薬 学 会</td> </tr> <tr> <td>日 本 細 胞 生 物 学 会</td> <td>日 本 動 物 学 会</td> <td>日 本 薬 理 学 会</td> </tr> </table> 2) 当財団の理事、監事および評議員 推薦件数：1 推薦者につき 1 件	高 分 子 学 会	日 本 獣 医 学 会	日 本 農 芸 化 学 会	日 本 遺 伝 学 会	日 本 植 物 生 理 学 会	日 本 発 生 生 物 学 会	日 本 ウ イ ル ス 学 会	日 本 神 經 科 学 学 会	日 本 ビ タ ミ ン 学 会	日 本 栄 養 ・ 食 糧 学 会	日 本 神 經 化 学 会	日 本 病 理 学 会	日 本 解 剖 学 会	日 本 生 化 学 会	日 本 物 理 学 会	日 本 化 学 会	日 本 生 物 工 学 会	日 本 分 子 生 物 学 会	日 本 癌 学 会	日 本 生 物 物 理 学 会	日 本 免 疫 学 会	日 本 細 菌 学 会	日 本 生 理 学 会	日 本 薬 学 会	日 本 細 胞 生 物 学 会	日 本 動 物 学 会	日 本 薬 理 学 会
高 分 子 学 会	日 本 獣 医 学 会	日 本 農 芸 化 学 会																										
日 本 遺 伝 学 会	日 本 植 物 生 理 学 会	日 本 発 生 生 物 学 会																										
日 本 ウ イ ル ス 学 会	日 本 神 經 科 学 学 会	日 本 ビ タ ミ ン 学 会																										
日 本 栄 養 ・ 食 糧 学 会	日 本 神 經 化 学 会	日 本 病 理 学 会																										
日 本 解 剖 学 会	日 本 生 化 学 会	日 本 物 理 学 会																										
日 本 化 学 会	日 本 生 物 工 学 会	日 本 分 子 生 物 学 会																										
日 本 癌 学 会	日 本 生 物 物 理 学 会	日 本 免 疫 学 会																										
日 本 細 菌 学 会	日 本 生 理 学 会	日 本 薬 学 会																										
日 本 細 胞 生 物 学 会	日 本 動 物 学 会	日 本 薬 理 学 会																										
推 薦 方 法	当財団ホームページ「振興賞」に記載の手順に従い推薦する。																											
締 切 日	2013 年 10 月 1 日 (火) (財団必着)																											
選 考 方 法	選考委員会で審査し、理事会で決定する。 採否の結果は、2014 年 2 月に候補者および推薦者に通知する。																											
顕 彰 ・ 贈 呈 式	受賞者には内藤記念科学振興賞〈正賞：金メダル、副賞：1,000 万円〉を贈呈。 受賞者夫妻は 2014 年 3 月 20 日 (木) に行う贈呈式に出席いただきます。																											
そ の 他	1) 学会推薦の場合は、学会の公印を捺印する。 2) 当財団の理事、監事または評議員推薦の場合は、私印を捺印する。																											

問い合わせ先 **公益財団法人 内藤記念科学振興財団**
113-0033 東京都文京区本郷 3-42-6 NKD ビル 8 階
TEL 03-3813-3861 FAX 03-3811-2917
URL <http://www.naito-f.or.jp/> E-mail joseikin@naito-f.or.jp

2013年度 事業計画 (2)

第45回(2013年度)

内藤記念科学奨励金・研究助成 申請要領

趣 旨	人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究に対し、研究費の一部を補助するものである。
申請者資格	<ol style="list-style-type: none"> 1) 人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究に独創的・先駆的に取り組んでいる若手研究者（年齢制限は無い） 2) 日本の研究機関に所属する研究者であること（ただし、国籍は問わない）。 3) 当財団の選考委員（ホームページ参照 URL http://www.naito-f.or.jp/）と同一の教室（講座）に所属する者は申請することができない。 4) 本助成金を受領した3年未満の研究者（2010～2012年度を受領者）は、申請することができない。 5) 海外で行う研究は対象外とする。
推薦者	<p>※財団ホームページのQ&A「推薦者の欄」を確認のこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 大学関係 ①大学院：研究科長、②学部：学部長、③研究所：研究所長、④大学病院：医学研究科長（又は医学部長） ①②③④以外の大学組織（研究センター、研究施設等）：学長 ただし、同一専攻の研究科（大学院）と学部（大学）の両方からは申請できない。どちらか一方の推薦者から1名の申請とする。 注）センター長、施設長、病院長は推薦者となることができない。 2) 大学以外の研究機関：当財団の理事会が承認した基礎研究機関の代表責任者 ※該当する研究機関には関連書類を送付する。 3) 当財団の理事・監事及び評議員（ホームページ参照 URL http://www.naito-f.or.jp/） 推薦件数：1推薦者につき1件
申請方法	<p>推薦者が1)、2)の場合：申請者 ⇒ 大学・研究機関 事務 ⇒ 財団 3)の場合：申請者 ⇒ 当財団の理事・監事・評議員 ⇒ 財団 ※3)の場合のみ財団への申請書類の送付は、申請者・推薦者のどちらからでも良い。 当財団ホームページの「助成金事業」に記載の手順に従い申請する。</p>
締切日	2013年6月3日（月）（財団必着）
選考方法 採択件数	<p>選考委員会で審査し、理事会で決定する。 採択件数：80件以上 採否の結果は、2013年10月に申請者および推薦者に通知する。</p>
助成額 送金時期	<p>300万円 2013年12月</p>
報告の義務	<ol style="list-style-type: none"> 1) 研究成果報告書及び使途報告書について：2015年9月末日までに所定用紙にて報告する。 2) 外部発表について：本研究に関して外部発表する場合は、当財団（英文：The Naito Foundation）の助成によるものであることを明記する。なお、別刷りを一部財団宛てに送付する。

申請に際しての留意点

- ・本申請研究の実施・成果発表に際しては、個人情報保護法（平成15年5月30日法律第57号）をはじめとする各種関連法規およびガイドラインを遵守する。
- ・申請書は採否にかかわらず一切返却しないものとする。
- ・当財団は、採択した案件に関する情報を財団機関誌・財団ホームページおよび贈呈式次第に掲載発表することができる。

申請内容は秘密を厳守し、本選考以外には使用しない。申請書に記入された個人情報の利用は、当財団の個人情報保護規程の利用目的の範囲内で行うものとする。

◎ 申請書記載内容に変更が生じた場合は、速やかに財団事務局に連絡ください。

◎ 助成金申請要領・申請書・報告書・Q&Aはホームページ（<http://www.naito-f.or.jp/>）内「助成金事業」に掲載しております。

問い合わせ先 **公益財団法人 内藤記念科学振興財団** 113-0033 東京都文京区本郷3-42-6 NKDビル8階
TEL 03-3813-3861 FAX 03-3811-2917 URL <http://www.naito-f.or.jp/> E-mail joseikin@naito-f.or.jp

2013年度 事業計画 (3)

第3回(2013年度)

内藤記念科学奨励金・若手ステップアップ研究助成 申請要領

趣 旨	人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎研究に携わる若手研究者に対し、科学奨励金・研究助成を終了した研究テーマの中から、将来有望なものを選抜し、研究費の一部を継続的に補助するものである。
申請者資格	<ol style="list-style-type: none"> 1) 人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究に独創的・先駆的に取り組んでいる若手研究者であること。 2) 過去の科学奨励金・研究助成の受領者であり、報告書を提出済みであること。但し、2012年度内藤記念科学奨励金・研究助成の採択者は対象外とする。 3) 1973年4月1日以降に出生の者(満40歳以下) 4) 科学奨励金・研究助成申請時のテーマ、あるいはそれから派生したテーマに基づく申請であること。 5) 当財団の選考委員と同一の教室(講座)に所属する者であっても、申請することができる。 6) 海外で行う研究は対象外とする。 7) 内藤記念科学奨励金・研究助成及び内藤記念女性研究者研究助成金と同時に申請することはできない。
推薦者	<p>※ 財団ホームページのQ&A「推薦者の欄」を確認のこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 大学関係 ①大学院：研究科長、②学部：学部長、③研究所：研究所長、④大学病院：医学研究科長(又は医学部長) ①②③④以外の大学組織(研究センター、研究施設等)：学長 注) センター長、施設長、病院長は推薦者となることができない。 2) 大学以外の研究機関：当財団の理事会が承認した基礎研究機関の代表責任者 ※該当する研究機関には関連書類を送付する。 3) 当財団の理事・監事及び評議員(ホームページ参照 URL http://www.naito-f.or.jp/) 科学奨励金・研究助成採択時の推薦者と同一の推薦者である必要はない。 推薦件数：1推薦者につき複数の推薦可
申請方法	<p>推薦者が1)、2)の場合：申請者 ⇒ 大学・研究機関 事務 ⇒ 財団</p> <p>3)の場合：申請者 ⇒ 当財団の理事・監事・評議員 ⇒ 財団</p> <p>※ 3)の場合のみ、財団への申請書類の送付は、申請者・推薦者のどちらからでも良い。 当財団ホームページの「助成金事業」に記載の手順に従い申請する。</p>
締切日	2013年6月3日(月)(財団必着)
選考方法数	<p>第1回選考委員会での審査により面接対象者を選出し、面接対象者のみにメールで通知する。面接担当選考委員による面接選考会は、8月中旬から下旬に実施を予定し、面接対象者の中から助成対象者を選出する。理事会で最終決定する。</p> <p>選考は以下のポイントから行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 当財団からの助成期間中、ならびに終了後の科学奨励金(研究助成)申請時のテーマ、あるいはそれから派生したテーマの研究進捗実績 2. 今後の3~4年間に研究をどのように発展させるかについての展望 3. 研究テーマの独創性について 4. 他の競合的研究資金の取得状況 <p>採択件数：3件以内 採否の結果は、2013年10月に申請者および推薦者に通知する。</p>
助成額	助成金額：3年間で総額1,000万円以内とする。
送金時期	1年目：2013年12月 2年目：2014年12月 3年目：2015年12月
報告の義務	<ol style="list-style-type: none"> 1) 研究成果報告書及び使途報告書について：1年目 2015年9月末日、2年目 2016年9月末日、3年目 2017年9月末日までに所定用紙にて必ず報告する。 2) 外部発表について：本研究に関して外部発表する場合は、当財団(英文：The Naito Foundation)の助成によるものであることを明記する。なお、別刷りを一部財団宛てに送付する。

申請に際しての留意点

- ・本申請研究の実施・成果発表に際しては、個人情報保護法(平成15年5月30日法律第57号)をはじめとする各種関連法規およびガイドラインを遵守する。
- ・申請書は採否にかかわらず一切返却しないものとする。
- ・当財団は、採択した案件に関する情報を財団機関誌・財団ホームページおよび贈呈式次第に掲載発表することができる。

申請内容は秘密を厳守し、本選考以外には使用しない。申請書に記入された個人情報の利用は、当財団の個人情報保護規程の利用目的の範囲内で行うものとする。

◎ 申請書記載内容に変更が生じた場合は、速やかに財団事務局に連絡ください。

◎ 助成金申請要領・申請書・報告書・Q&Aはホームページ(<http://www.naito-f.or.jp/>)内「助成金事業」に掲載しております。

問い合わせ先 **公益財団法人 内藤記念科学振興財団** 113-0033 東京都文京区本郷3-42-6 NKDビル8階
TEL 03-3813-3861 FAX 03-3811-2917 URL <http://www.naito-f.or.jp/> E-mail joseikin@naito-f.or.jp

2013年度 事業計画 (4)

第8回(2013年度)

内藤記念女性研究者研究助成金 申請要領

趣 旨	人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究を行う女性研究者に対して、出産・育児によって研究が中断した際の研究現場への復帰と研究業績を挙げることを支援する目的で、研究に必要な費用を補助するものである。
申請者資格	<ol style="list-style-type: none"> 自然科学の基礎的研究に独創的・先駆的に取り組んでいる一定以上の研究実績をあげた博士号を持つ研究者 日本国内の研究機関に所属している者(国籍は問わないが、申請書は日本語で作成すること) 出産日から復帰日までが60ヵ月以内の女性研究者 <ol style="list-style-type: none"> 今後職場復帰する場合 復帰日と復帰場所が明確になっていること。復帰日までが出産日より60ヵ月以内であること。 応募以前に職場復帰している場合 出産日から助成金締切日までが60ヵ月以内であれば応募することができる。 当財団以外から同期間(申請年度を含む助成期間(2013年度～2015年度))に同様(同類)の助成金を受けることはできない。 当財団の選考委員(ホームページ参照 URL http://www.naito-f.or.jp/)と同一の教室(講座)に所属する者は申請することができない。
推薦者	<p>※財団ホームページのQ&A「推薦者の欄」を確認のこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 大学関係 ①大学院：研究科長、②学部：学部長、③研究所：研究所長、④大学病院：医学研究科長(又は医学部長) ①②③④以外の大学組織(研究センター、研究施設等)：学長 注)センター長、施設長、病院長は推薦者となることができない。 大学以外の研究機関：当財団の理事会が承認した基礎研究機関の代表責任者 ※該当する研究機関には関連書類を送付する。 当財団の理事・監事及び評議員(ホームページ参照 URL http://www.naito-f.or.jp/) 推薦件数：1推薦者につき1件
申請方法	<p>推薦者が1)、2)の場合：申請者 ⇒ 大学・研究機関 事務 ⇒ 財団 3)の場合：申請者 ⇒ 当財団の理事・監事・評議員 ⇒ 財団 ※3)の場合のみ、財団への申請書類の送付は、申請者・推薦者のどちらからでも良い。 当財団ホームページの「助成金事業」に記載の手順に従い申請する。</p>
締切日	2013年6月3日(月)(財団必着)
選考方法 採択件数	<p>採択件数：10件以上 採否の結果は、2013年10月に申請者および推薦者に通知する。</p>
助成額 送金時期	<p>200万円/年の3年間。 ただし、3年目の助成については2年目迄の研究結果を評価して継続の可否を決定するため、2年目迄の研究成果報告書を2015年9月末日までに送付する。 送金時期：1年目：2014年1月 2年目：2015年1月 3年目：2016年3月</p>
注意事項	<ol style="list-style-type: none"> 出産日を証明する書類(母子手帳の写し又は出生証明書等)を添付する。 旧姓を使用し、出生証明書と名前が異なる場合は同一人物であることを証明する書類を添付する。
報告の義務	<ol style="list-style-type: none"> 研究成果報告書及び使途報告書について：2年目2015年9月末日、3年目2016年9月末日までに所定用紙にて必ず報告する。 外部発表について：本研究に関して外部発表する場合は、当財団(英文：The Naito Foundation)の助成によるものであることを明記する。なお、別刷りを一部財団宛てに送付する。

申請に際しての留意点

- ・本申請研究の実施・成果発表に際しては、個人情報保護法(平成15年5月30日法律第57号)をはじめとする各種関連法規およびガイドラインを遵守する。
- ・申請書は採否にかかわらず一切返却しないものとする。
- ・当財団は、採択した案件に関する情報を財団機関誌・財団ホームページおよび贈呈式次第に掲載発表することができる。

申請内容は秘密を厳守し、本選考以外には使用しない。申請書に記載された個人情報の利用は、当財団の個人情報保護規程の利用目的の範囲内で行うものとする。

◎ 申請書記載内容に変更が生じた場合は、速やかに財団事務局に連絡ください。

◎ 助成金申請要領・申請書・報告書・Q&Aはホームページ(<http://www.naito-f.or.jp/>)内「助成金事業」に掲載しております。

問い合わせ先 **公益財団法人 内藤記念科学振興財団** 113-0033 東京都文京区本郷3-42-6 NKDビル8階
TEL 03-3813-3861 FAX 03-3811-2917 URL <http://www.naito-f.or.jp/> E-mail joseikin@naito-f.or.jp

2013年度 事業計画 (5)

第45回(2013年度)

内藤記念海外学者招聘助成金申請要領

趣 旨	人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究を行う外国の研究者を招聘する際の費用を補助するものである。												
候 補 者 資 格	<p>1) 人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究に独創的・先駆的に取り組み、国際的に高い評価を得ている外国の研究者を招聘する際の当該学術集会（日本国内で開催される定例的な年会や季会）組織委員長（ただし当財団の理事・監事・評議員・選考委員は申請できない）</p> <p>2) 同一年度の同一学術集会に招聘する場合の申請は1件とする。</p> <p>3) 招聘時期が下記の期間内であること。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>招聘時期</th> <th>申請区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2014年1月1日～2014年6月30日</td> <td>前期</td> </tr> <tr> <td>2014年7月1日～2014年12月31日</td> <td>後期</td> </tr> </tbody> </table> <p>4) 当財団の選考委員（ホームページ参照 URL http://www.naito-f.or.jp/）と同一の教室（講座）に所属する者は申請することができない。</p>	招聘時期	申請区分	2014年1月1日～2014年6月30日	前期	2014年7月1日～2014年12月31日	後期						
招聘時期	申請区分												
2014年1月1日～2014年6月30日	前期												
2014年7月1日～2014年12月31日	後期												
推 薦 者	<p>※ 財団ホームページのQ&A「推薦者の欄」を確認のこと。</p> <p>1) 大学関係 ①大学院：研究科長、②学部：学部長、③研究所：研究所長、④大学病院：医学研究科長（または医学部長）、①②③以外の大学組織（研究センター、研究施設等）：学長 ただし、同一専攻の研究科（大学院）と学部（大学）の両方からは申請できない。どちらか一方の推薦者とする。 注）センター長、施設長、病院長は推薦者となることができない。</p> <p>2) 大学以外の研究機関：当財団の理事会が承認した基礎研究機関の代表責任者 ※該当する研究機関には関連書類を送付する。</p> <p>3) 当財団の理事・監事及び評議員（ホームページ参照 URL http://www.naito-f.or.jp/）</p> <p>4) 当財団の指定した学会の代表者（※該当学会には関連書類を送付する） 推薦件数：1推薦者につき1件（前期・後期 各々1件）</p>												
申 請 方 法	<p>推薦者が1)、2)、4)の場合：申請者 ⇒ 大学・研究機関 事務 ⇒ 財団</p> <p>3)の場合：申請者 ⇒ 当財団の理事・監事・評議員 ⇒ 財団</p> <p>※3)の場合のみ、財団への申請書類の送付は、申請者・推薦者のどちらからでも良い。 当財団ホームページの「助成金事業」に記載の手順に従い申請する。</p>												
締 切 日	前期：2013年6月3日（月） 後期：2013年10月1日（火）（いずれも財団必着）												
選 考 方 法	<p>選考委員会で審査し、理事会で決定する。</p> <p>採択件数：前期・後期各10件以内（予算範囲内）</p> <p>採否の結果は、前期：2013年10月、後期：2014年2月に申請者および推薦者に通知する。</p>												
助 成 額	<table border="1"> <thead> <tr> <th>エリア</th> <th>助成額（万円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中東・アフリカ</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>米国・カナダ（西海岸除く）、ヨーロッパ、南米</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>米国・カナダ西海岸、オーストラリア、ニュージーランド</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>東南アジア、インド</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>中国、台湾、韓国</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>前期：2013年12月、後期：2014年3月</p>	エリア	助成額（万円）	中東・アフリカ	80	米国・カナダ（西海岸除く）、ヨーロッパ、南米	60	米国・カナダ西海岸、オーストラリア、ニュージーランド	50	東南アジア、インド	30	中国、台湾、韓国	20
エリア	助成額（万円）												
中東・アフリカ	80												
米国・カナダ（西海岸除く）、ヨーロッパ、南米	60												
米国・カナダ西海岸、オーストラリア、ニュージーランド	50												
東南アジア、インド	30												
中国、台湾、韓国	20												
注 意 事 項	<p>1) 組織委員長及び招聘学者が明記されている書面（当該学術集会の開催趣意書（必須）及びプログラム・サーキュラー等）を、申請書と共に必ず提出する。</p> <p>2) 来日の中止について：招聘学者が来日中止の場合は助成を辞退していただくので財団事務局へ必ず連絡下さい。</p>												
報 告 の 義 務	<p>1) スポンサーについて：当該学術集会で海外学者による招待講演が行われる場合は、プログラム等に当財団（英文：The Naito Foundation）の助成によるものであることを明記する。なお、プログラム等を一部送付する。</p> <p>2) 学会成果報告書及び使途報告書について：組織委員長は学会終了後1ヶ月以内に所定用紙にて必ず報告する。</p>												

◎ 申請書記載内容に変更が生じた場合は、速やかに財団事務局に連絡ください。

◎ 助成金申請要領・申請書・報告書・Q&A はホームページ(<http://www.naito-f.or.jp/>)内「助成金事業」に掲載しております。

問い合わせ先 **公益財団法人 内藤記念科学振興財団** 113-0033 東京都文京区本郷3-42-6 NKDビル8階
TEL 03-3813-3861 FAX 03-3811-2917 URL <http://www.naito-f.or.jp/> E-mail joseikin@naito-f.or.jp

2013年度 事業計画 (6)

第 30 回(2013 年度)

内藤記念海外研究留学助成金 申請要領

趣 旨	我が国の自然科学の将来を担う国際的視野に富む研究者を育成することを目的とし、人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究を行うために、若手研究者が海外の大学等研究機関に長期間留学する際の渡航費、留学に伴う経費ならびに研究費を補助するものである。
申請者資格	<ol style="list-style-type: none"> 1) 博士号を持つか、出発日までに取得見込みの研究者（出発日までに博士号取得見込みの大学院生は対象とする） 2) 学生として海外の大学・大学院への留学は対象外とする。 3) 1979年4月1日以降に出生の者（満34歳以下） 4) 留学先研究機関の責任者または受入研究室の責任者の承諾を得ている者（受入先承諾書（サイン付）を添付する） 5) 2014年4月1日～2015年3月31日の間に出発し、1年以上留学する者 留学先から一時帰国し、再度上記の期間に出発する者は対象にならない。 6) 当財団の選考委員（財団ホームページ参照 URL http://www.naito-f.or.jp）と同一の教室（講座）に所属する者は申請することができない。
推薦者	<p>※財団ホームページのQ&A「推薦者の欄」を確認のこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 大学関係 ①大学院：研究科長、②学部：学部長、③研究所：研究所長、④大学病院：医学研究科長（又は医学部長） ①②③④以外の大学組織（研究センター、研究施設等）：学長 注）センター長、施設長、病院長は推薦者となることができない。 2) 大学以外の研究機関：当財団の理事会が承認した基礎研究機関の代表責任者 ※該当する研究機関には関連書類を送付する。 3) 当財団の理事・監事及び評議員（ホームページ参照 URL http://www.naito-f.or.jp/） 推薦件数：1推薦者につき1件
申請方法	<p>推薦者が1)、2)の場合：申請者 ⇒ 大学・研究機関 事務 ⇒ 財団 3)の場合：申請者 ⇒ 当財団の理事・監事・評議員 ⇒ 財団 ※3)の場合のみ、財団への申請書類の送付は、申請者・推薦者のどちらからでも良い。 当財団ホームページの「助成金事業」に記載の手順に従い申請する。</p>
締切日	2013年10月1日（火）（財団必着）
選考方法 採択件数	<p>採択件数：15件以内 採否の結果は、2014年2月に申請者および推薦者に通知する。</p>
助成額 送金時期	<p>300万円 2014年3月</p>
注意事項	<ol style="list-style-type: none"> 1) 受入先承諾書に必須記入項目（留学先からの給与支給の有無、研究テーマ、留学受入年月日、留学期間、受入先責任者のサイン）が記載されていることを確認し、提出する。 ※必須記入項目が一項目でも記載されていない場合は受付できません。 2) 留学中止、留学先の変更または「申請者資格5）」に記載の期間内に出発できなくなった場合は、助成を辞退していただくので財団事務局へ必ず連絡下さい。
報告の義務	<ol style="list-style-type: none"> 1) 消息について：留学先に到着および帰国時に、住所及び E-mail アドレス等を必ず報告する。また、留学先が途中で変更になる場合には、速やかに報告する。 2) 研究成果報告書及び使途報告書について：帰国後 1 ヶ月以内に所定用紙にて報告する。研究成果報告書の内容については、事前に留学先に報告を財団宛てに行うことのできることを得ておく。 3) 外部発表について：本研究に関して外部発表する場合は、当財団（英文：The Naito Foundation）の助成によるものであることを明記する。なお、別刷りを一部財団宛てに送付する。

申請に際しての留意点

- ・本申請研究の実施・成果発表に際しては、個人情報保護法（平成15年5月30日法律第57号）をはじめとする各種関連法規およびガイドラインを遵守する。
- ・申請書は採否にかかわらず一切返却しないものとする。
- ・当財団は、採択した案件に関する情報を財団機関誌・財団ホームページおよび贈呈式次第に掲載発表することができる。

申請内容は秘密を厳守し、本選考以外には使用しない。申請書に記入された個人情報の利用は、当財団の個人情報保護規程の利用目的の範囲内で行うものとする。

◎ 申請書記載内容に変更が生じた場合は、速やかに財団事務局に連絡ください。

◎ 助成金申請要領・申請書・報告書・Q&Aはホームページ（<http://www.naito-f.or.jp/>）内「助成金事業」に掲載しております。

問い合わせ先 **公益財団法人 内藤記念科学振興財団** 113-0033 東京都文京区本郷 3-42-6 NKDビル 8階
TEL 03-3813-3861 FAX 03-3811-2917 URL <http://www.naito-f.or.jp/> E-mail joseikin@naito-f.or.jp

2013年度 事業計画 (7)

第13回(2013年度)

内藤記念若手研究者海外派遣助成金 申請要領

趣 旨	我が国の生命科学の将来を担う国際的視野に富む研究者を育成することを目的とし、人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究を行う若手研究者が海外で行われる国際会議（学会・シンポジウム等）で、自己の成果を口頭発表する場合の渡航費を補助するものである。																										
申請者資格	1) 日本の大学、研究施設に籍をもつ研究者（大学院生を含む） 2) 人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究に取り込んでいる若手研究者で 1973 年 4 月 1 日以降に出生の者（満 40 歳以下） 3) 日本国内で行った研究成果が海外で開催される国際学会やシンポジウムで口頭発表として採択された者 ポスター発表者は対象外とする。 なお、 ① 海外留学中または、海外で行った研究の発表には適応しない。 ② 年 1 回に限り申請することができる。 4) 本助成金受領者は、隔年の申請はできるが次年度の申請はできない。																										
推薦者	※財団ホームページの Q&A「推薦者の欄」を確認のこと。 1) 大学関係 ①大学院：研究科長、②学部：学部長、③研究所：研究所長、④大学病院：医学研究科長（又は医学部長） ①②③④以外の大学組織（研究センター、研究施設等）：学長 注）センター長、施設長、病院長は推薦者となることができない。 2) 大学以外の研究機関：当財団の理事会が承認した基礎研究機関の代表責任者 ※該当する研究機関には関連書類を送付する。 3) 当財団の理事・監事及び評議員（ホームページ参照 URL http://www.naito-f.or.jp/) 推薦件数：1 推薦者につき夏季・秋季・冬季・春季 各々 1 件																										
申請方法	推薦者が 1)、2) の場合：申請者 ⇒ 大学・研究機関 事務 ⇒ 財団 3) の場合：申請者 ⇒ 当財団の理事・監事・評議員 ⇒ 財団 ※3) の場合のみ、財団への申請書類の送付は、申請者・推薦者のどちらからでも良い。 当財団ホームページの「助成金事業」に記載の手順に従い申請する。																										
締切日	学会の開催月により、年 4 回の受付を行う。 <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th>申請区分</th> <th>学会等開催月</th> <th>申請書受付期間 (期間中財団必着)</th> <th>採否通知</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏季</td> <td>7月～9月</td> <td>4月 1日～5月 20日</td> <td>6月中旬</td> </tr> <tr> <td>秋季</td> <td>10月～12月</td> <td>5月 21日～8月 20日</td> <td>9月中旬</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>1月～3月</td> <td>8月 21日～11月 20日</td> <td>12月中旬</td> </tr> <tr> <td>春季</td> <td>4月～6月</td> <td>11月 21日～2月 20日</td> <td>3月上旬</td> </tr> </tbody> </table>			申請区分	学会等開催月	申請書受付期間 (期間中財団必着)	採否通知	夏季	7月～9月	4月 1日～5月 20日	6月中旬	秋季	10月～12月	5月 21日～8月 20日	9月中旬	冬季	1月～3月	8月 21日～11月 20日	12月中旬	春季	4月～6月	11月 21日～2月 20日	3月上旬				
申請区分	学会等開催月	申請書受付期間 (期間中財団必着)	採否通知																								
夏季	7月～9月	4月 1日～5月 20日	6月中旬																								
秋季	10月～12月	5月 21日～8月 20日	9月中旬																								
冬季	1月～3月	8月 21日～11月 20日	12月中旬																								
春季	4月～6月	11月 21日～2月 20日	3月上旬																								
選考方法 採択件数	・選考担当理事、選考委員長で構成される審査会（年 4 回、6・9・12・3 月開催）で選考し決定する。 ・採択件数は、年間予算の範囲内。 ・採否の結果は、上記の時期に申請者および推薦者に通知する。																										
助成額 送金時期	<table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th>渡航先</th> <th>助成額 (万円)</th> <th>助成区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中東・アフリカ</td> <td>40</td> <td>I</td> </tr> <tr> <td>ヨーロッパ各国、トルコ、南米</td> <td>35</td> <td>II</td> </tr> <tr> <td>米国・カナダ（西海岸除く）、メキシコ</td> <td>30</td> <td>III</td> </tr> <tr> <td>米国・カナダ西海岸、オーストラリア、ニュージーランド</td> <td>25</td> <td>IV</td> </tr> <tr> <td>東南アジア、インド</td> <td>20</td> <td>V</td> </tr> <tr> <td>東アジア（タイ、フィリピン、中国）</td> <td>15</td> <td>VI</td> </tr> <tr> <td>韓国、台湾</td> <td>10</td> <td>VII</td> </tr> </tbody> </table> <p>出発時期を勘案し送金する。</p>			渡航先	助成額 (万円)	助成区分	中東・アフリカ	40	I	ヨーロッパ各国、トルコ、南米	35	II	米国・カナダ（西海岸除く）、メキシコ	30	III	米国・カナダ西海岸、オーストラリア、ニュージーランド	25	IV	東南アジア、インド	20	V	東アジア（タイ、フィリピン、中国）	15	VI	韓国、台湾	10	VII
渡航先	助成額 (万円)	助成区分																									
中東・アフリカ	40	I																									
ヨーロッパ各国、トルコ、南米	35	II																									
米国・カナダ（西海岸除く）、メキシコ	30	III																									
米国・カナダ西海岸、オーストラリア、ニュージーランド	25	IV																									
東南アジア、インド	20	V																									
東アジア（タイ、フィリピン、中国）	15	VI																									
韓国、台湾	10	VII																									
注意事項	1) プログラム、サーキュラー及び口頭発表採択証明を申請書と共に郵送する。 2) 口頭発表採択証明等添付資料も受付期間必着とする。																										
報告の義務	研究成果報告書及び使途報告書について：帰国後 1 ヶ月以内に口頭発表を行った学術集会の概要と助成金使途内訳について所定用紙にて必ず報告する。																										

◎ 申請書記載内容に変更が生じた場合は、速やかに財団事務局に連絡ください。

◎ 助成金申請要領・申請書・報告書・Q&A はホームページ (<http://www.naito-f.or.jp/>) 内「助成金事業」に掲載しております。

2013年度 事業計画 (8)

第41回(2013年度)

内藤記念講演助成金申請要領

趣 旨	国際会議の開催において、自然科学の基礎的研究に関する国内で開催される国際会議の開催に対し、費用を補助するものである。																				
申請者資格	<p>大学、研究機関に所属する者が主催する自然科学の基礎的研究に関する国内で開催される国際会議(シンポジウム、講演会)の開催責任者(主催者)</p> <p>国際会議とは、参加者総数が50名以上で、かつ参加国が日本を含む2カ国以上を占める会議をいう。</p> <p>なお、下記の集会の開催責任者は対象外とする。</p> <p>① 国内で開催される学術集会の定例的な年会や季会</p> <p>② 当該年度に既に当財団が採択した助成金と同一のシンポジウム、講演会</p> <p>当財団の理事・監事・評議員及び選考委員による申請は原則行わない。但し、助成金を個人のために使用しないことが明白な場合にはこの限りではない。</p>																				
推薦者	<p>1) 当財団の理事・監事及び評議員(自薦は対象としない)</p> <p>2) 当財団の指定した学会の代表者(※該当学会には関連書類を送付する)</p> <p>推薦件数: 当財団の理事・監事および評議員の場合1推薦者につき年間2件 当財団の指定した学会の代表者の場合1推薦者につき年間1件</p>																				
申請方法	<p>推薦者が1)の場合: 申請者 → 当財団の理事・監事・評議員 → 財団 (財団への申請書類の送付は、申請者・推薦者のどちらからでも良い)</p> <p>2)の場合: 申請者 → 学会事務 → 財団</p> <p>当財団ホームページ「助成金事業」に記載の手順に従い申請する。</p>																				
締切日	<p>国際会議の開催月により、年4回の受付を行う。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>申請区分</th> <th>国際会議開催月</th> <th>申請書受付期間 (期間中財団必着)</th> <th>採否通知</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏季</td> <td>7月～9月</td> <td>4月1日～5月20日</td> <td>6月中旬</td> </tr> <tr> <td>秋季</td> <td>10月～12月</td> <td>5月21日～8月20日</td> <td>9月中旬</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>1月～3月</td> <td>8月21日～11月20日</td> <td>12月中旬</td> </tr> <tr> <td>春季</td> <td>4月～6月</td> <td>11月21日～2月20日</td> <td>3月上旬</td> </tr> </tbody> </table>	申請区分	国際会議開催月	申請書受付期間 (期間中財団必着)	採否通知	夏季	7月～9月	4月1日～5月20日	6月中旬	秋季	10月～12月	5月21日～8月20日	9月中旬	冬季	1月～3月	8月21日～11月20日	12月中旬	春季	4月～6月	11月21日～2月20日	3月上旬
申請区分	国際会議開催月	申請書受付期間 (期間中財団必着)	採否通知																		
夏季	7月～9月	4月1日～5月20日	6月中旬																		
秋季	10月～12月	5月21日～8月20日	9月中旬																		
冬季	1月～3月	8月21日～11月20日	12月中旬																		
春季	4月～6月	11月21日～2月20日	3月上旬																		
選考方針 採択件数	<p>常務理事、選考担当理事、選考委員長全ての承諾により採択する。</p> <p>採択件数は、年間予算の範囲内</p> <p>採否の結果は、上記の時期に申請者および推薦者に通知する。</p>																				
助成額 送金時期	<p>上限は1件50万円</p> <p>当該国際会議の開催日を勘案し、送金する。</p>																				
注意事項	<p>開催趣意書及びプログラム・アブストラクト等会議の概要が分かるものを各1部添付すること。</p> <p>同一年度の同一学術集会への複数助成はしない。</p>																				
報告の義務	<p>1) 成果報告及び使途報告書について: 助成対象の行事終了後1ヶ月以内に概要を所定用紙にて必ず報告する。</p> <p>2) 外部発表について: 当該学術集会のプログラム等に当財団(英文: The Naito Foundation)の助成によるものであることを明記する。</p>																				

◎ 申請書記載内容に変更が生じた場合は、速やかに財団事務局に連絡ください。

◎ 助成金申請要領・申請書・報告書・Q&A はホームページ(<http://www.naito-f.or.jp/>)内「助成金事業」に掲載しております。

2013年度 事業計画 (9)

第 42 回(2013 年度)

内藤記念特定研究助成金

趣 旨	人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的領域において、先導的なテーマに取り組む研究に対し、研究費の一部を補助するものである。	
申請者資格	当該コンファレンスに公募参加したポスター発表者のうち組織委員会において選ばれた者	
コンファレンス名	第 35 回内藤コンファレンス	第 36 回内藤コンファレンス
テ ー マ	ユビキチン-プロテアソームシステム： メカニズムから病態まで	分子からみたエネルギーバランスと 摂食行動の制御
開 催 日	2013 年 7 月 9 日～7 月 12 日	2013 年 9 月 10 日～9 月 13 日
開 催 場 所	シャトレーゼ ガトーキングダム サッポロ	シャトレーゼ ガトーキングダム サッポロ
選 考 方 法	組織委員会で審査し、理事会で決定する	
採 択 件 数	10 件（総額 500 万円）	10 件（総額 500 万円）
助 成 金 の 期 送 金 時 期	2013 年 12 月に送金する	2014 年 3 月に送金する
報 告 の 義 務	<p>1) 研究成果報告書及び用途報告書について：2015 年 9 月末日までに所定用紙にて必ず報告する。</p> <p>但し、採択者が大学院（大学）に在籍する学生で、2015 年 9 月末日までに卒業する場合には、卒業時まで所定用紙にて必ず報告する。</p> <p>2) 所属の異動について：所定の書式にて届出をすること。</p> <p>3) 外部発表について：本研究に関して外部発表する場合は、当財団（英文：The Naito Foundation）の助成によるものであることを明記する。</p> <p>なお、別刷りを一部財団宛てに送付する。</p>	

申請に際しての留意点

- ・本申請研究の実施・成果発表に際しては、個人情報保護法（平成 15 年 5 月 30 日法律第 57 号）をはじめとする各種関連法規およびガイドラインを遵守する。
- ・申請書は採否にかかわらず一切返却しないものとする。
- ・当財団は、採択した案件に関する情報を財団機関誌・財団ホームページおよび贈呈式次第に掲載発表することができる。

申請内容は秘密を厳守し、本選考以外には使用しない。申請書に記入された個人情報の利用は、当財団の個人情報保護規程の利用目的の範囲内で行うものとする。

◎ 申請書記載内容に変更が生じた場合は、速やかに財団事務局に連絡ください。

◎ 助成金申請要領・申請書・報告書・Q&A はホームページ (<http://www.naito-f.or.jp/>) 内「助成金事業」に掲載しております。

問い合わせ先 **公益財団法人 内藤記念科学振興財団** 113-0033 東京都文京区本郷 3-42-6 NKD ビル 8 階
TEL 03-3813-3861 FAX 03-3811-2917 URL <http://www.naito-f.or.jp/> E-mail joseikin@naito-f.or.jp

2013年度 事業計画 (10)

第 42 回(2013 年度) 内藤記念特定研究助成金

趣 旨	人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的領域において、先導的なテーマに取り組む研究に対し、研究費の一部を補助するものである。	
申請者資格	翌年度開催予定の内藤コンファレンスの組織委員 ただし就任年度に財団の理事・監事・評議員・選考委員が組織委員に選任された場合は申請できない。	
コンファレンス名	第 37 回内藤コンファレンス	第 38 回内藤コンファレンス
テ ー マ	バイオイメージング (仮題)	生物システムの生活環と器官形成 (仮題)
開 催 日	2014 年 7 月 15 日～7 月 18 日	2014 年 10 月 7 日～10 月 10 日
開 催 場 所	ヒルトンニセコビレッジ	シャトレーゼ ガトーキングダム サッポロ
選 考 方 法	理事会で決定する	
採 択 件 数	組織委員長 (1 名) : 300 万円 組織委員 (4 名) : 150 万円 (5 件 総額 900 万円)	組織委員長 (1 名) : 300 万円 組織委員 (4 名) : 150 万円 (5 件 総額 900 万円)
助 成 金 の 期 送 金 時 期	2013 年 8 月に送金する	
報 告 の 義 務	1) 研究成果報告書及び使途報告書について:2015 年 9 月末日までに所定用紙にて必ず報告する。 2) 所属の異動について:所定の書式にて届出をすること。 3) 外部発表について:本研究に関して外部発表する場合は、当財団(英文:The Naito Foundation)の助成によるものであることを明記する。 なお、別刷りを一部財団宛てに送付する。	

申請に際しての留意点

- ・本申請研究の実施・成果発表に際しては、個人情報保護法(平成 15 年 5 月 30 日法律第 57 号)をはじめとする各種関連法規およびガイドラインを遵守する。
- ・申請書は採否にかかわらず一切返却しないものとする。
- ・当財団は、採択した案件に関する情報を財団機関誌・財団ホームページおよび贈呈式次第に掲載発表することができる。

申請内容は秘密を厳守し、本選考以外には使用しない。申請書に記載された個人情報の利用は、当財団の個人情報保護規程の利用目的の範囲内で行うものとする。

◎ 申請書記載内容に変更が生じた場合は、速やかに財団事務局に連絡ください。

◎ 助成金申請要領・申請書・報告書・Q&A はホームページ (<http://www.naito-f.or.jp/>) 内「助成金事業」に掲載しております。

問い合わせ先 **公益財団法人 内藤記念科学振興財団** 113-0033 東京都文京区本郷 3-42-6 NKD ビル 8 階
TEL 03-3813-3861 FAX 03-3811-2917 URL <http://www.naito-f.or.jp/> E-mail joseikin@naito-f.or.jp

事業 年度	自	平成25年4月1日	法人コード	A002520
	至	平成26年3月31日	法人名	公益財団法人内藤記念科学振興財団

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載してください。

借入れの予定		なし	
事業番号	借入先	金額	用途
		円	

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む。)の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容等を記載してください。

設備投資の予定		あり	
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法 又は取得資金の用途
公 1	助成金申請受付システム設計	2,000,000円	

第45期(2013年度)収支予算書(増減計算様式)

平成25年4月 1日から平成26年3月31日まで

科 目	2013年度公益目的事業内訳表			公益目的事業計	法人会計(管理費)	2013年度 予算 合計額	備考
	公1(助成講演)計	公2(資料収集)計	共通				
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
① 基本財産運用益	553,197,141	4,511,343	28,593,715	586,302,199	65,007,535	651,309,734	収益割合を9:1に変更
基本財産受取利息(振替額)	0	0	21,150,000	21,150,000	2,350,000	23,500,000	
基本財産受取利息(振替額)	1,234,384	0	0	1,234,384	0	1,234,384	
基本財産受取配当金(振替額)	551,962,757	4,511,343	7,443,715	563,917,815	62,657,535	626,575,350	エーザイ株式の配当金
② 特定資産運用益	5,500,000	0	0	5,500,000	0	5,500,000	
特定資産受取利息	2,500,000	0	0	2,500,000	0	2,500,000	
特定資産受取配当金	3,000,000	0	0	3,000,000	0	3,000,000	エーザイ株式の配当金
③ 受取寄附金	23,000,000	0	0	23,000,000	0	23,000,000	
受取寄附金(振替額)	23,000,000	0	0	23,000,000	0	23,000,000	指定正味財産からの振替
④ 雑収益	0	0	0	0	1,510,000	1,510,000	
受取利息				0	10,000	10,000	
受取配当金				0	1,500,000	1,500,000	エーザイ株式の配当金
雑収益				0	0	0	
経常収益計	581,697,141	4,511,343	28,593,715	614,802,199	66,517,535	681,319,734	
(2) 経常費用							
役員報酬	4,936,800	13,200	0	4,950,000	1,650,000	6,600,000	
給料手当	19,980,000	20,000	0	20,000,000	10,000,000	30,000,000	
福利厚生費			100,000	100,000	150,000	250,000	
会議費		0	0	0	800,000	800,000	
旅費交通費			50,000	50,000	950,000	1,000,000	
通信運搬費			3,412,000	3,412,000	2,270,000	5,682,000	
減価償却費			600,000	600,000	50,000	650,000	
消耗什器備品費			300,000	300,000	500,000	800,000	
消耗品費	200,000			200,000	300,000	500,000	
修繕費			40,000	40,000	10,000	50,000	
印刷製本費			0	0	3,300,000	3,300,000	
光熱水料費			480,000	480,000	120,000	600,000	
賃借料			9,800,000	9,800,000	3,200,000	13,000,000	
諸謝金	2,000,000			2,000,000	2,500,000	4,500,000	
支払褒賞金	10,500,000	0	0	10,500,000	0	10,500,000	
科学振興費	10,500,000			10,500,000		10,500,000	
支払助成金	531,000,000	0	0	531,000,000	0	531,000,000	
科学奨励金事業費	300,000,000			300,000,000		300,000,000	
若手ステップアップ助成事業費	31,000,000			31,000,000		31,000,000	
特定研究助成事業費	28,000,000			28,000,000		28,000,000	
海外研究留学助成事業費	45,000,000			45,000,000		45,000,000	
若手研究者海外派遣助成事業費	10,000,000			10,000,000		10,000,000	
海外学者招へい助成事業費	10,000,000			10,000,000		10,000,000	理事会決議により昨年度と同予算
女性研究者研究助成事業費	100,000,000			100,000,000		100,000,000	\11/3回目 \12/2回目 \13/1回目
講演助成事業費	7,000,000			7,000,000		7,000,000	
講演事業費	50,000,000	0	0	50,000,000		50,000,000	内藤コンファレンス 2回/年開催費用
講演事業費 I	48,000,000			48,000,000		48,000,000	当年度コンファレンス費用
講演事業費 II	2,000,000			2,000,000		2,000,000	次年度以降コンファレンス準備費用
資料収集展示費	0	4,000,000		4,000,000		4,000,000	
選考費	7,000,000			7,000,000		7,000,000	
贈呈式費	6,600,000			6,600,000		6,600,000	
図書購読料				0	150,000	150,000	
支払手数料	0			0	2,600,000	2,600,000	
情報公開費	2,963,000			2,963,000	740,000	3,703,000	IT環境整備費分増加
支払寄附金				0		0	
雑費			250,000	250,000	750,000	1,000,000	
経常費用計	635,179,800	4,033,200	15,032,000	654,245,000	30,040,000	684,285,000	
評価損益等調整前当期経常増	△ 77,060,341	498,142	29,335,014	△ 39,442,801	36,477,535	△ 2,965,266	
基本財産評価損益等					0	0	
特定資産評価損益等					0	0	
投資有価証券評価損益等					0	0	
評価損益等計					0	0	
当期経常増減額	△ 77,060,341	498,142	29,335,014	△ 39,442,801	36,477,535	△ 2,965,266	
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益						0	
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	
(2) 経常外費用							
什器備品除却損						0	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	
他会計振替額						0	
当期一般正味財産増減額	△ 77,060,341	498,142	29,335,014	△ 39,442,801	36,477,535	△ 2,965,266	
一般正味財産期首残高	-	-	-	-	-	3,275,484,884	
一般正味財産期末残高	-	-	-	-	-	3,272,519,618	
II 指定正味財産増減の部							
基本財産運用益配当金	551,962,757	4,511,343	7,443,715	563,917,815	62,657,535	626,575,350	
受取寄附金	60,000,000			60,000,000	0	60,000,000	
受取利息	1,234,384			1,234,384	0	1,234,384	
一般正味財産への振替額(受取配当金)	△ 551,962,757	△ 4,511,343	△ 7,443,715	△ 563,917,815	△ 62,657,535	△ 626,575,350	
一般正味財産への振替額(受取寄附金)	△ 23,000,000			△ 23,000,000	0	△ 23,000,000	受取寄附金より振替
一般正味財産への振替額(受取利息)	△ 1,234,384			△ 1,234,384	0	△ 1,234,384	
当期指定正味財産増減額	37,000,000			37,000,000	0	37,000,000	
指定正味財産期首残高	-	-	-	-	-	14,381,484,277	
指定正味財産期末残高	-	-	-	-	-	14,418,484,277	
III 正味財産期末残高						17,691,003,895	